



向井ちひろ市議会通信 NO.32

### 子どもたちに多様な学びの場を

丹波篠山市で暮らす全ての子どもたちが豊かで幸せな子ども時代を生き、健やかに成長するためには、一人ひとりを尊重した学びの場や安心できる居場所が必要です。そのために行政は、多様な学びの場を創出し、支援していくことが求められます。

文科省の調査（2022年度）によると、全国の小中学校の長期欠席者数は約30万人となっています。丹波篠山市でも、小学生26人、中学生75人となっており、近年増加傾向にあります。不登校の背景や要因と考えられる事情は個々さまさまで、一人ひとりに合わせた対応が必要です。学校に行きづらい子どもたちに対して、市は、ゆめハウス（子どもたちの居場所）の設置やスクールソーシャルワーカー、カウンセラーによる相談支援等を行っています。

「教育機会確保法」（2017年）では、①全ての児童生徒が豊かで安心した教育が受けられるような環境の確保が図られること ②不登校児童生徒の多様な学習活動の実状をふまえ、個々の状況に応じた支援が行われること ③不登校児童生徒が安心して教育を受けられるよう、学校における環境の整備が図られること、としています。私は、丹波篠山市においても、この教育機会確保法にのっとり、学校に行きづらくなっている子どもたちに多様な学びの場を整備し、本人や保護者に寄りそった相談支援を進めていくべきだと考えます。

師走会議で一般質問をしました。その様子はこちらからご覧いただけます。



### 丹波篠山市内の多様な教育の場、子どもたちのための居場所など

\*ゆめハウス・・・市が運営している子どもたちの居場所

場所／西紀支所4階 電話 079-590-8111

\*ささやま子育て親の会・・・学校に行きづらかったり、ひきこもりがちになっている子どもを持つ親のしゃべり場 月1回（第4水曜日・夜）

場所／四季の森生涯学習センター 電話 079-594-3657（荻野さん）

\*インターナショナルデモクラティックスクールまめの木・・・テストも時間割もない学校（市が指導要録上出席扱いを認めています）

場所／垂水421-2

\*トーキョーコーヒー・・・多様な教育への理解を深める大人と子どもの居場所（まめの木）

まめの木さんへの問い合わせはこちらからどうぞ。



## 皆さまから寄せられた声に取り組んでいます

\*老人クラブの加入者が減っている。また休会するクラブも増えている。高齢者が増える中で、皆さんが入りやすい方法や役員の負担軽減などが必要だと思う。(老人クラブ会員)  
→ 老人クラブの加入状況や休会するクラブの状況などを調査していきます。

\*畑で作っている野菜の余剰分を寄付したいが、どこに聞けばよいのか？(農家)  
→ 社会福祉協議会の善意銀行(寄付物資の受付窓口)や子ども食堂などを行っている団体の連絡先などをお伝えしました。

\*「コミュニティバスがなくなる」と聞いているが、今よりも不便になったり、運賃が上がったりしてほしくない。(市内東部地区住民)  
→ 現在、市が公共交通を見直している。利便性を向上させることが目的であり、令和6年度に実証実験としてデマンド型交通を行う予定。(創造都市課)  
令和6年2月21日までパブリックコメントを募集中です。皆さまの声をお聞かせください。(市役所、支所、ホームページで閲覧できます)

## 地域での催し等に出席しました

地区福祉会議	こどもまんなか講演会
市民センターまつり	市場まつり
森のメモリー2人展	新春駅伝大会
実践農学入門成果発表会	老人クラブ新年のつどい
スマイルささやま20周年記念式典	

\*この他にも地域での集まりや自治会長会、まちづくり協議会等の会議や行事に出席させて頂いています。ぜひ、小さな集まりでもお声かけください。

\*「千の声」は一人ひとりの小さな声と共にまちを創っていきたいと願いをこめてつけた名前です。千人、万人の皆さまの声をお聞かせください。

\*どんなことでもお気軽にご連絡ください。#向井ちひろ #向井ちひろと千の声

向井ちひろ (丹波篠山市議会議員 総務文教常任委員会委員長 会派「福祉と人権」)



## 千の声 No.32

2024年2月発行(偶数月第1土曜発行)

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前315番地3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

メール [info@mukaichihiro.org](mailto:info@mukaichihiro.org)

\*「千の声」郵送希望の方はご連絡下さい。